

Lecture 授業No.100 教科書P.158～

T.Q.「ナポレオン独裁のH(ホップ°)

→S(ステップ°)→J(ジャンプ°)とは？」

向出 研司: 石川県立寺井高等学校

地歴公民科教諭

直前予習 T. A. キーワード確認

教科書 P.158・159

T.Q. 「ナポレオン独裁のH(ホップ)→S(ステップ)
→J(ジャンプ)とは？」

1. 統領政府
2. 第一統領
3. 国民国家
4. ローマ教皇
5. ナポレオン法典
6. ナポレオン1世

クリックで全て



今日の授業ラインナップ。

1. ナポレオン、第一統領に就任
2. ナポレオン、終身統領に就任
3. ナポレオン、皇帝に即位

T.Q.「ナポレオン独裁のH→S→Jとは？」 教科書P.158～

(3) **ナポレオン=ボナパルト**(コルシカ島生まれ) ※1

1 1795、王党派の反乱鎮圧

2 1796～97、**イタリア遠征**でオーストリアを破る

3 1798～99、**エジプト遠征... 英のインドルート遮断**が目的 ※2

〔 陸:英・トルコを破る ※3

海:英に敗北 cf. **ロゼッタ=ストーン**発見 ※4

4 1799. 11月、**ブリュメール18日のクーデタ**で総裁政府を倒す

→**統領政府**を立て第一統領として独裁 ∴ 仏 revo. 終了

⑥ ナポレオン時代

(1) 内近代化促進 ex フランス銀行(1800)

外:オーストリアを再び破る ※5

コンコルダート(1801)で教皇と和解

1790以来の対立

1/2枚目のスライドはここまで!

外：オーストリアを再び破る(1800)

コンコルダート(宗教協約 1801)で教皇と和解

1790以来の対立

ここから

アミアンの和約(1802)で英と休戦

→第2回対仏大同盟解散

T.Q.「ナポレオン独裁の

H→S→Jとは？」

教科書P.158～

人気
アップ

(2) 1802、終身統領に←国民投票

(3) 1804、**民法典**(**ナポレオン法典**)

[私有財産の不可侵、法の下での平等] ※6

(4) 1804、皇帝に即位 ※7

∴ **第一帝政**スタート...二重人格的

十面

一面

内:revo. の定着 ↔ 専制君主 ※8

ex. 民法典

※T. A. まとめスライドへ

外:revo. の輸出 ↔ 侵略と支配の口実

ex. 封建的圧政からの解放 最後のスライドはここまで!

クリック①: 若き日のナポレオンの肖像

※1

クリック②: ナポレオンの名言その1

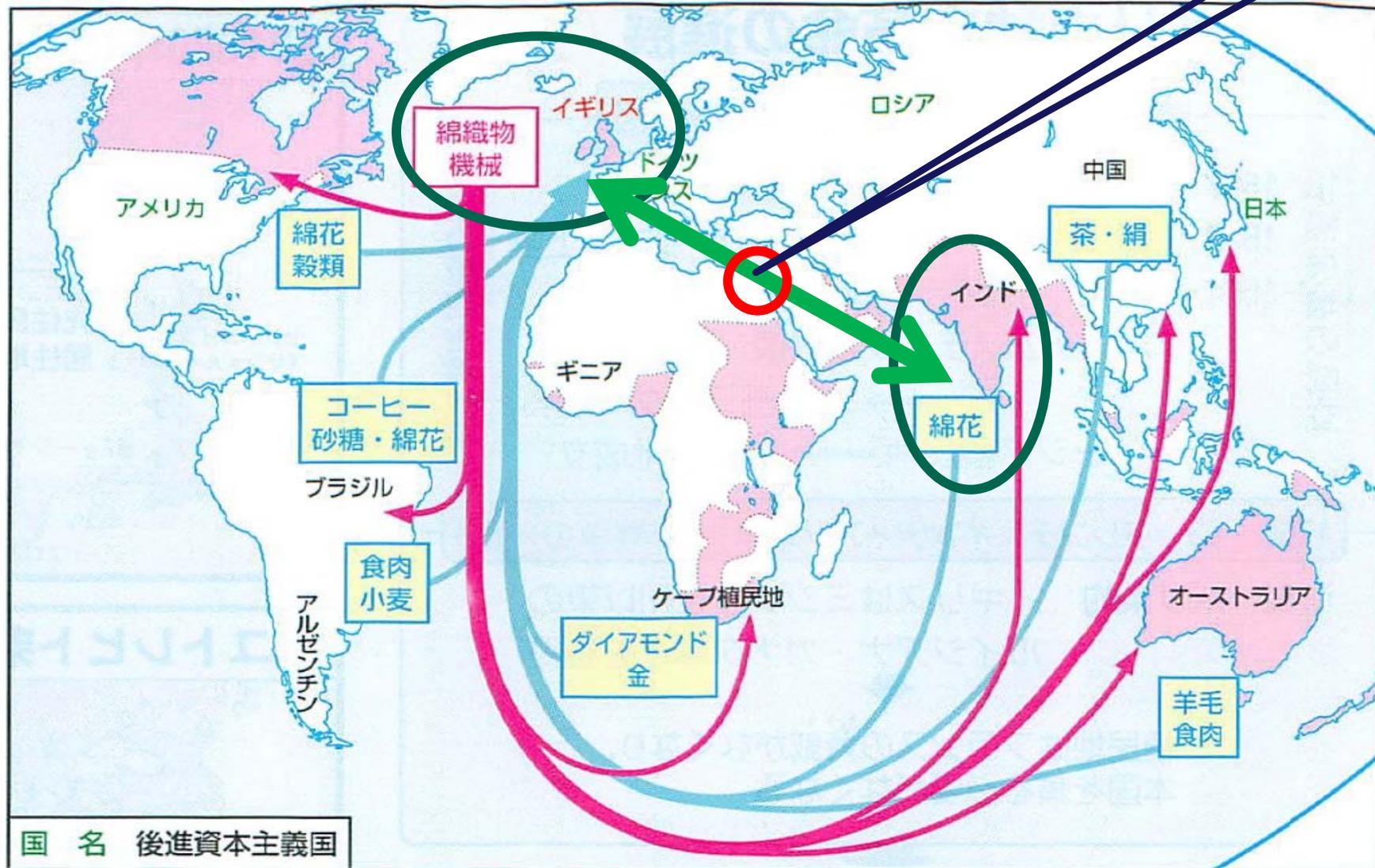
●「不可能という言葉は、フランス語にはない」 一般に「余の辞書に不可能の文字はない」として知られる。ナポレオンが日ごろから口にしていた言葉とされ、彼の強い自信を象徴している。



👉 ナポレオン = ボナパルト コルシカ島生まれのフランスの英雄。フランス革命末期の総裁政府時代に軍人として頭角を現し、1804年国民投票により皇帝となった。

※2

クリックで、イギリスの「生命線」インドルートと **エジプト**

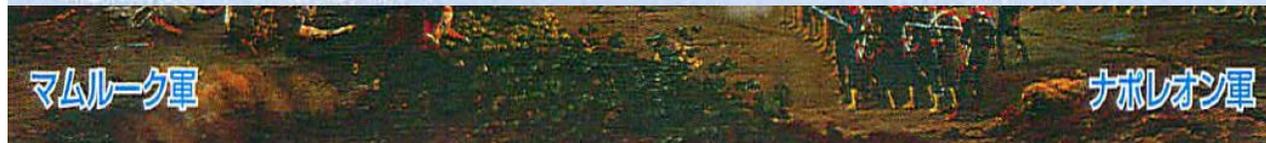


↑解説 イギリスは、19世紀中頃、世界の工業生産高の2分の1から3分の1、世界貿易額の4分の1を占め、「イギリスの平和(パックス=ブリタニカ)」を現出した。

クリックで、
ナポレオンの名言その2



●「兵士らよ、このピラミッドの上から4000年の歴史が諸君を見下ろしている」 エジプト遠征中の「ピラミッドの戦い」(1798)で兵士をげきれい激励した言葉。



↑エジプト遠征でのピラミッドの戦い(1798) 英領インドに対する戦略拠点確保のため、総裁政府はエジプト遠征を計画。ナポレオンはアレクサンドリアに上陸し、ギザ近郊でマムルーク軍を撃破したものの、遠征は英のネルソンの反撃により失敗。この遠征には多くの科学者や技術者たちが同行しており、ヒエログリフ神聖文字解読の契機となるストーンロゼッタ石(📄P.15写)も発見された。縦180cm, 横458cm ヴェルサイユ宮殿蔵(部分)

👉ロゼッタ=ストーン

古代エジプト文字解読の手がかりとなった石碑。

1799年ナポレオンのエジプト遠征の際、アレクサンドリア付近で発見された。

神聖文字(ヒエログリフ)はシャンポリオンにより解読された。

縦124cm, 横72cm
大英博物館(ロンドン)蔵



古代エジプト文字の解読

S I L O



M

👉神聖文字(ヒエログリフ)

※4

S O I M O L T P



👉民用文字(デモティック)

P T O L E M A I O S



👉ギリシア文字

神聖文字は原則として右から左へ読むが、左から右、上から下、下から上へ読むこともある。

クリックで、ナポレオンとの関係



↑ ナポレオンのアルプス越え(第2次イタリア遠征)

第1次イタリア遠征で第1回対仏大同盟を解消させたナポレオンは、1800年、再びアルプスを越えて墺軍を撃破。ダヴィッドに、ハンニバル・カール大帝に続くアルプス越え3人目の英雄として自らを描かせた。



クリック①: **ハンニバル** クリック②: **カール大帝**

クリック①: フランス人権宣言にも明記されていた

※6

「所有権」尊重＝ブルジョワ(商工業の経営者)の利害に配慮

クリック②: ナポレオンの名言その3



ナポレオン法典(1804年3月「フランス人の民法典」として公布)

II **家族の尊重** 213. 夫は妻を保護し、妻は夫に服従する義務を負う。(P.179史)

III **所有権の絶対** 人間は願望を持って生まれてくる。それは食べたり着たりすることができなければならない。ゆえに人は自己の生存とその維持とに必要な物に対する権利を有する。それが所有権の起源である。…だから所有権自体は自然の直接的な制度である。…

IV **契約の自由** 1134. 適法に締結された合意はそれをなした当事者間では法律たるの効力を有する。
(「世界歴史事典」平凡社)

●「余の真の栄誉は40回の戦いの勝利ではなく…永久に生きるのは余の民法典である」 セントヘレナ島への流刑後、『回顧録』の中で述べた言葉。「ナポレオン法典」をいかに誇りに思っていたかがわかる。

1804年12月、パリのノートルダム大聖堂でナポレオンが妻ジョゼフィーヌに冠^{いただ}を戴かせようとしている場面。教皇ピウス7世が招かれていたが、ナポレオンは自ら戴冠し、妻にも冠を授けて権力を誇示した。周囲の立ち会いは、列国の代表と国内の要人。

ダヴィド筆、ルーヴル美術館蔵、1806～07年、621×979cm

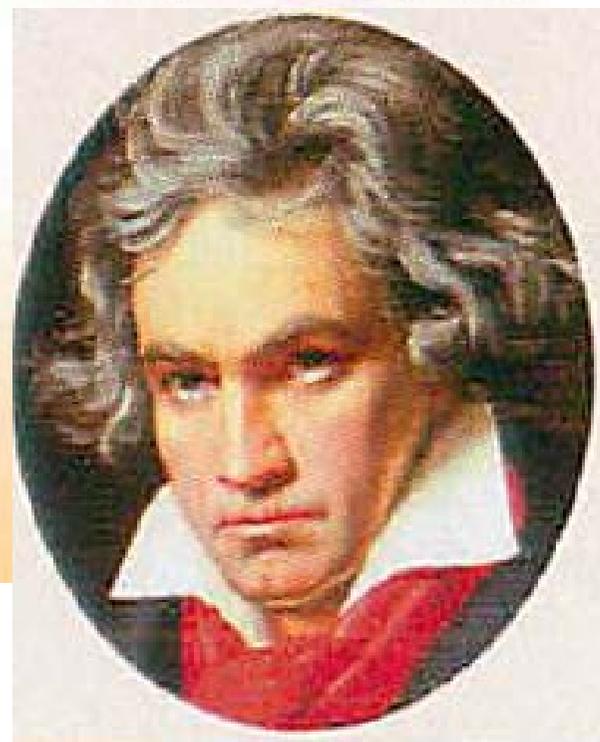
※7



「英雄」にかけた期待と幻滅 1770～1827

※8

ベートーヴェンはナポレオンを人類解放の英雄として尊敬し、彼に第3交響曲を贈ろうとした。しかし、彼の皇帝就任のニュースを聞くと「奴も俗物にすぎなかったか」と叫び、「ボナパルト」という献辞を消した。彼が「革命の子・解放者」から「独裁者・諸国民の抑圧者」へと変質していくことを芸術家の眼は逃さなかった。



クリックで、**ベートーヴェン**の肖像画

第3交響曲「英雄」



Lecture 授業No.99

T.Q.「ナポレオン独裁のH→S→Jとは？」

イタリアやエジプトへの遠征で国民の支持を得たナポレオンは、1799年、ブリュメール18日のクーデタで総裁政府を倒し統領政府を作り第一統領として独裁を行い革命を定着させていった。その後、1802年に民衆の願いであった英との休戦を実現(アミアンの和約)して終身統領になり、ナポレオン法典を制定した同年1804年、国民投票で皇帝に即位し第一帝政が始まった。